



# 海と地球の科学を学ぶ マリエント 「ちきゅう」たんけんクラブ

2025.5月活動報告

## 『令和8年度 発足式』

■日時:令和8年5月10日(日)10:00~12:00 ■会場:マリエント3階 ウミネコシアター  
参加者:マリエント「ちきゅう」たんけんクラブ会員家族 122名・来賓27名・関係者7名 計156名



### 趣 旨

19年目を迎えるマリエント「ちきゅう」たんけんクラブは、現在ジュニア(小学生~中学生対象)、シニア(高等学校生徒~大学・学生対象)、プラチナ(一般対象)の三部制での活動を行っています。活動を支えてくださっている多くの皆様により感謝するとともに、5月24日、千葉県幕張メッセ会場で開催されるJpGU(日本地球惑星科学連合)2026年大会へ向けての団結式も開催。今年度は初めて中学生会員が高校生と一緒に大会へ参加します。

その後、サケの稚魚の放流を行い、今年度の活動の安全と会員一人ひとりの成長を祈願します。



### 式次第

- 9:15 受付開始【場所:3階ウミネコシアター】
  - 10:00 令和8年度 発足式 開式
    - 1.主催者挨拶
    - 2.たんけんクラブ・シニア日本地球惑星科学連合 2026年大会「JpGU」に係る団結式
    - 3.八戸市長挨拶
    - 4.来賓紹介
    - 5.来賓挨拶
    - 6.たんけんクラブからのメッセージ
  - 11:20 7.サケ稚魚の放流【場所:マリエント前浜予定】
  - 11:50 8.八戸市図書館を使った調べる学習コンクール紹介  
【場所:5階展望ホール】
- レポート作成後、終了



あいさつ



八戸市水産科学館マリエント  
館長 統轄責任者 吉井 仁美

今日はJAMSTECの皆様をはじめ、多くのご来賓の皆様、八戸市長熊谷様をお迎えして第19回、マリエント「ちきゅう」たんけんクラブ発足式が開催できますことを心より感謝申し上げます。

マリエント「ちきゅう」たんけんクラブは平成19年、「ちきゅう情報館」オープンと共に、10名でスタートしました。会員の皆様の“声”をもとに3部制となり、今年度の会員は、合わせて157名、総累計2,891名での発足となりました。

ジュニア活動では“海を視る”ということを目的に企画しています。“海から拓けた町、八戸”には水産・海洋・漁業・加工業など海をベースにした職業がたくさんありますが、森や川の役割、市民生活に関する役割、自衛隊、警察、消防など市民を守る仕事など多くの働きによって八戸は支えられています。ジュニア会員には“海から拓けた町、八戸”を通して、将来の夢を想像できるような体験や活動を体験できるよう企画しております。

シニア活動については、“海に出る準備期間”としての活動が行われています。自分の船で、自分の意思で漕ぎ出した時の準備期間として、未来に少しでもプラスになることがあるよう、JpGUへのエントリーにも取り組んでいます。プラチナ会員は、自分の船で大海原へ漕ぎ出しています。想像と違った世界かもしれませんが、困難に打ち勝つことができるよう、マリエントを皆様の拠点、母港として寄港・帰港して欲しいと考えております。

“やらなければならないことは何か？”を常に考え、“声”を聞き、「ちきゅう情報館」によって私たちの活動が広がっていくことへの感謝とお礼の気持ちをひとつずつカタチにし、スタッフと共に真摯に活動に取り組んで参ります。世界中から愛され、大海原で大活躍している地球深部探査船「ちきゅう」のように一人ひとりの未来が光輝くことを願ひまして、私の挨拶とさせていただきます。



日本地球惑星科学連合(JpGU)2026年大会に係る団結式

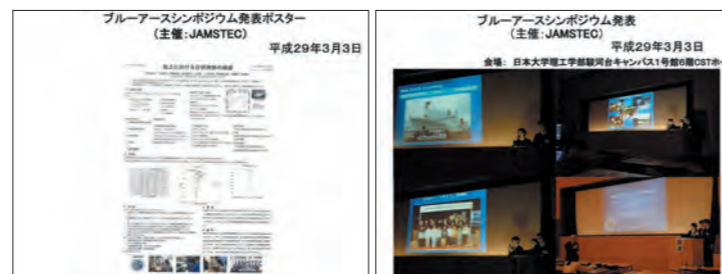


平成28年8月18~19日の2日間、八戸港に停泊中の海洋地球研究船「みらい」を使用した海洋観測実習体験



日本地球惑星科学連合(JpGU)  
ポスター発表への挑戦の道のり  
2017年~2026年

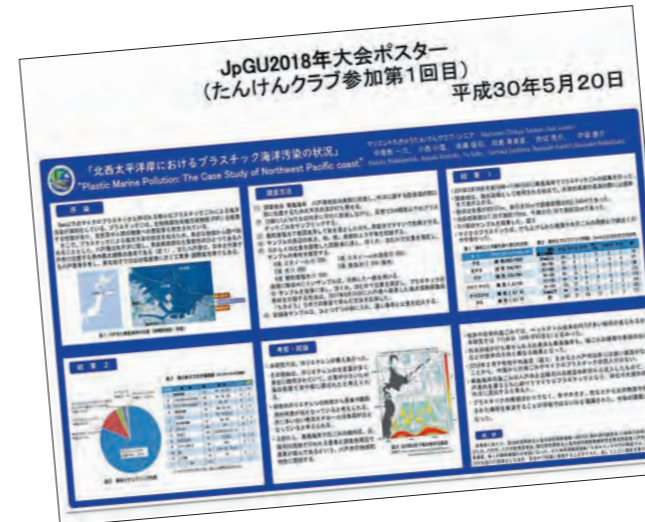
日本地球惑星科学連合(JpGU)今年度までの取り組みをスクリーンを用いて吉井館長から紹介



当時高校生部門のJpGUへの参加は学校・部活動単位のみとしており前例がなく参加することはできませんでした



海ゴミの調査、研究や「ちきゅう」船上での分析実習などの活動を行いながらエントリーできる機会を待っていました



初めての参加で制作したポスター



JpGUへ参加できるまでの道のりは険しいものでしたが参加9回目を迎える今年度はO-13国際セッション「国際高校生ポスターセッション」が新たに追加され、中学生も参加が可能に!!





平 希望さん 八戸北高等学校 3年

今回は2024年の研究で行った評価を再検討し、「三陸ジオパークが世界ジオパークになれるように、また三陸ジオパークを訪れてきた来訪者の方々が、より安心・安全な旅を過ごせるように」という内容の発表です。

私自身、今回最後の参加となりますが、防災士としての知識を深めつつ、先輩たちに恥じないような発表をしたいと思っています。

川口 慶治さん 八戸聖ウルスラ学院高等学校 3年

私も今回で最後の参加となります。私は小学1年生の頃からマリエント「ちきゅう」たんけんクラブの活動に参加してきました。ジュニアの活動で学んだ「不思議に思うこと」そしてその不思議を「探究する」ことを活かしてジュニアの活動に取り組んできました。JpGUでは「北三陸の災害や防災について」発表してきます。今まで学んだことを発揮できるよう頑張りたいです。

川口 紗織さん 八戸聖ウルスラ学院中学校 2年

今年より中学生の参加が可能となり、全て英語で説明するという条件のもと参加させていただきます。毎週講義を受け、紙芝居を作ったり、発表の練習をしたりとJpGUの参加への準備を進めてきました。参加は初めてですが今から緊張していますが、先生方から学んだことをしっかり出し切れるよう頑張ります。私の目標はたくさんの人に分かりやすい説明をすることです。応援よろしくお願いします。

坂本 慧音さん 八戸工業高等専門学校  
マテリアル・バイオ工学コース 1年

私はJpGU大会に参加するのは今回初めてですが、あまり緊張しすぎず、仲間と共に創り上げてきたものを出し切れるよう頑張ります。

岩岡 美彩希さん 八戸聖ウルスラ学院高等学校 3年

We are going to join the JpGU international Poster session. We talk about disaster prevention of shimamori Basin. I have been to JpGU session twice before, but this is our first time to presentation in English. So, we will work together and try our best to tell people about the charm of the "Shimamori Basin."

私たちはJpGU国際ポスターセッションに参加します。島守盆地の防災について発表します。私は以前にもJpGUのセッションに2回参加したことがありますが、英語での発表は今回が初めてです。そこで、皆で協力して、島守盆地の魅力を皆さんに伝えるために最善を尽くします。

秋山 美鈴晃さん 八戸工業高等専門学校  
マテリアル・バイオ工学コース 3年

私は昨年9月に「ちきゅう」たんけんクラブに入会しましたが、ご縁がありJpGUの活動に参加させていただきました。今回、国際セッションで島守と防災についての関わりについて英語で発表してきます。私は八戸高専でポスター発表を2回経験し、賞もいただいたこともあります。英語が大の苦手ですが、八戸高専での経験を活かし、自分にとっての新しい挑戦として精進していきます。

指導者・シニア会長 高橋 晃

今日はお忙しい中、参列していただきありがとうございます。今年度は今までと違い中学生参加の「インターナショナルセッション」が加わります。これはアメリカの物理学会・地球物理学会連合とのジョイント学会になります。外国からたくさんの方がいらっしゃいますが、私たちにとっては新たなチャレンジとなります。全て英語でのセッションで今回開催されますが、新たなチャレンジを繰り返すことによって自分の道を自分で切り開くことができると思います。10年後、20年後、花開くそれまでの期間あなたたく応援していただけたらと思います。今日は本当にありがとうございました。

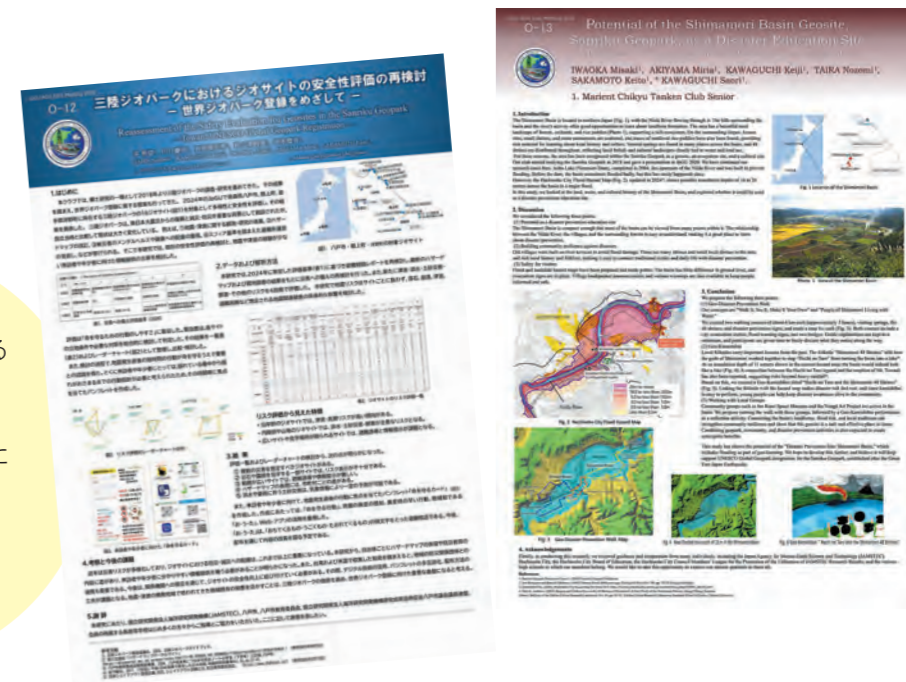
指導者・シニア副会長 横葉 和弘

JpGUに向けて活動してきたことを自信を持って発表してもらいたいです。応援よろしくお願いします。

指導者・ジュニア会長 井上 寛之

子ども達は「不思議だな」と思ったことを種子にしながら自分の研究を深めています。皆さんも自分の持っている「不思議だな」と思うことを大事にして自分自身成長させていけば嬉しいなと思っています。6名、それぞれの立場でしっかり発表してくれることと思っています。暖かい目で声援を贈っていただければありがたいです。本日はありがとうございました。

ポスター発表で使用するポスターが完成。分析方法や分析結果、今後の課題など充実した取り組みの成果が記載されています。英語でのポスターも!!



左から:坂本慧音さん・川口慶治さん・平希望さん・岩岡美彩希さん・秋山美鈴晃さん・川口紗織さん



八戸市長  
くまがい ゆういち  
熊谷 雄一様

今年もマリエント「ちきゅう」たんけんクラブの発足式がJAMSTECの皆様をはじめ、ご来賓の方々ご臨席のもとに開催されますことを嬉しく思います。日頃より八戸市の教育・行政にご支援ご協力をいただいておりますことに改めて感謝申し上げます。

3月31日に令和7年度の活動報告をしていただき、また記録誌も頂戴いたしました。これだけ精力的に活動している団体は無いのではないのかと思っております。

これからも様々なカタチで海や自然に親しみ、海洋・地球科学を多めに学んでいただきたいと思います。

団結式では一人ひとりの決意表明も伺いました。いつも応援しています。今年は全て英語での発表ということですので、緊張しているとは思いますが、今まで皆さんが活動してきたこと、調査してきたこと、研究してきたことを世界に向かって発信していくことを願っております。

八戸は「海から拓けた町」、海と共に発展してきました。3年後、5月1日に市政施行100周年を迎えます。八戸の歩みをもう一度振り返りながら、新たな可能性を見出して皆さんとともに発展させより良い八戸を創っていきたい、と考えています。そのためにもこの活動を一生懸命取り組んでいただきたいと思います。

クラブの皆さんの益々のご活躍とご臨席の皆様、ご家族の皆様のご多幸とご健勝を祈りまして挨拶とさせていただきます。



国立研究開発法人  
海洋研究開発機構  
管理部門 部門長  
さとう しんいちろう  
佐藤 慎一郎様

本日は令和8年度発足式の開催、おめでとうございます。我々JAMSTECを応援してくださる方はたくさんいらっしゃいますが、その中でも八戸の応援は熱烈なものがあり、最強のサポーターだと光栄に思います。ありがとうございます。

19年という長きに渡り、活動を続けてこられるということは、地域の児童・生徒の皆さん、保護者の皆様方の科学技術、教育、社会活動に対する熱意の表れだと感じています。

「ちきゅう」たんけんクラブの名前の由来となった「ちきゅう」は昨年、運航開始から20年となりました。そしてこの2月、南鳥島沖の海底6,000mからレアアースを含む泥の引き揚げに成功しました。資源開発までは長い道のりですが20年間で蓄積してきた技術やノウハウがあってこそ成功だと感じています。

今年の注目は「みらいII」。今年末引渡しの予定です。一般見学、お披露目する機会があると思いますので、ぜひ楽しみにしててください。そしてJpGUには私たちJAMSTECも多く参加します。我々の研究者もJpGUではたくさんの刺激を受けます。たんけんクラブのメンバーも一緒に、頑張っていけたらと思っております。本日はおめでとうございます。

### たんけんクラブからのメッセージ

たんけんクラブの活動を支えて下さる多くの皆様へ感謝メッセージと、今年度活動スタートを記念し、皆さんでケーキ入刀をして令和8年度の活動をスタート!!



ケーキ  
入場!!

日頃よりたんけんクラブ活動を温かく支え、見守ってくださっている皆様に、心より感謝申し上げます。

私たちは、さまざまな体験を通して、地球や自然、そして地域について多くのことを知ることができました。これらの貴重な体験は、本日お集まりのご来賓の皆様をはじめ、多くの皆様の励ましとご協力のおかげであると心より感謝申し上げます。

皆様の、誇りをもち働く姿、人の為に取り組んでいる姿、最先端の調査研究へチャレンジする姿は、私たちの憧れです。

そして、仲間とともに体験する楽しさは、私たちにとって大きな財産となります。

これからも、学んだことを大切にしながら、「海から拓けた町八戸」を誇りとし夢に向かってさらに成長していきたいと思えます。

応援して下さるすべての皆様に、心より「ありがとう」をお伝えいたします。今年度も宜しくお願いいたします。



令和8年度 スタート!!!

### 係のたんけんクラブ会員

- |                                                     |                                       |                                           |                                     |                                        |
|-----------------------------------------------------|---------------------------------------|-------------------------------------------|-------------------------------------|----------------------------------------|
| にし あおい<br>西 葵生さん<br>八戸市立白銀南中学校 3年                   | さいとう よしの<br>齋藤 嘉乃さん<br>八戸市立立南小学校 2年   | くぼた あおい<br>久保田 葵さん<br>八戸市立東中学校 3年         | ふなはし さく<br>船橋 朔さん<br>平内町立東小学校 6年    | ひらた りゅうたろう<br>平田 龍太郎さん<br>八戸市立第三中学校 2年 |
| すぎもと やまと<br>杉本 大和さん<br>八戸市立八戸小学校 5年                 | まつお かほ<br>松尾 佳歩さん<br>八戸聖ウルスラ学院中学校 2年  | ながわら えれさ<br>中川原 縁麗彩さん<br>八戸市立旭ヶ丘小学校 2年    | いわき たかし<br>岩城 隆俊さん<br>苫小牧市立和光中学校 3年 |                                        |
| ほんじつ<br>ふじわら ゆりな<br>藤原 由理奈さん<br>岩手県立種市高等学校 海洋開発科 1年 | なし<br>梨子 ことはさん<br>岩手県立種市高等学校 海洋開発科 1年 | まつおか りこ<br>松岡 梨恋さん<br>岩手県立種市高等学校 海洋開発科 2年 |                                     |                                        |



● 来賓者名簿



八戸市長  
八戸市議会議員JAMSTEC議連会長  
たんけんクラブ 名誉会長  
八戸市議会議員JAMSTEC議連会長  
たんけんクラブ 副会長  
八戸市議会議員JAMSTEC議連会長  
たんけんクラブ 副会長  
八戸市議会議員JAMSTEC議連会長  
たんけんクラブ 副会長  
八戸市議会議員JAMSTEC議連会長  
たんけんクラブ 幹事  
八戸市議会議員JAMSTEC議連会長  
たんけんクラブ 幹事  
八戸市議会議員JAMSTEC議連会長  
たんけんクラブ 幹事  
八戸市議会議員JAMSTEC議連会長  
たんけんクラブ 幹事  
JAMSTEC管理部門 部門長  
海上自衛隊 八戸航空基地  
第二航空群司令 海将補

くまがい ゆういち  
熊谷 雄一様  
さかもと よしひろ  
坂本 美洋様  
たちばな たかゆき  
立花 敬之様  
ごのへ さだひろ  
五戸 定博様  
もりぞの しゅういち  
森園 秀一様  
ひなた まさお  
日當 正男様  
なかむら ますのり  
中村 益則様  
たなぶ ひろみ  
田名部 裕美様  
さとう しんいちろう  
佐藤 慎一郎様  
かど あきひと  
角 亜希仁様

海上保安庁八戸海上保安部長  
八戸警察署長  
八戸東消防署長  
八戸工業大学 学長  
たんけんクラブ 顧問  
八戸工業高等専門学校 校長  
たんけんクラブ 顧問  
JAMSTEC地球環境研究部門むつ研究所 研究所長  
たんけんクラブ 顧問  
八戸東消防署 鮫分署長  
JAMSTEC地球環境研究部門  
むつ研究所 管理・研究支援課 課長  
八戸市教育委員会 教育部長  
八戸市観光文化スポーツ部長  
JAMSTEC地球環境研究部門  
むつ研究所 管理・研究支援課 課長代理  
八戸市教育部副理事兼社会教育課長  
八戸市観光文化スポーツ部  
次長兼観光課長

まつかわ かつのり  
松川 勝紀様  
のざと かずほ  
野里 和保様  
さかもと あつし  
坂本 淳様  
ふなざき けんいち  
船崎 健一様  
つちや のりよし  
土屋 範芳様  
ささき けんいち  
佐々木 建一様  
おざき ただし  
尾崎 匡様  
やなぎたに まさのぶ  
柳谷 昌信様  
みうら じゅんや  
三浦 順哉様  
くどう としのり  
工藤 俊憲様  
きむら さとる  
木村 訓様  
たがはし のぶこ  
高橋 宣子様  
しもむら こういち  
下村 晃一様



サケ稚魚の放流

ご協力・提供：新田川漁業協同組合様

今年度の活動の安全と、今後の成長を祈願して、  
恵比寿浜にて、サケの稚魚の放流を行いました。

放流される稚魚は孵化から体長10cm  
程の稚魚になるまでマリエントで飼育！  
「成長日記」もつけていましたよ！



大きくなって  
八戸に帰ってきてね！



八戸市立図書館より  
「図書館を使った調べる学習コンクール」  
優秀賞  
「カラスとトンビの正体は？」  
かまや あまね  
釜谷 周さん  
八戸市立柏崎小学校 4年



ほんじつ いそが なか ほっそくかい しゅつせき  
本日はお忙しい中、発足会にご出席いただきましてありがとうございます。  
たんけんクラブの活動にご協力・ご支援をいただいているJAMSTECの皆様、  
はちのへしちよう くまがい さま おお らいひん みなさま かぞく みなさま かんしゃ もう あ  
八戸市長熊谷様をはじめ多くのご来賓の皆様、ご家族の皆様へ感謝申し上げます。  
ねんめ むか わたし たいけん とお おお まな え てき  
19年目を迎えた私たちはさまざまな体験を通して多くの学びを得ることができています。  
こんねんど かつどう かんしゃ わず まな たいせつ  
今年度の活動も感謝を忘れず、これからも学ぶことを大切に、  
ひと たいけん じゅうじつ と く まい  
一つひとつの体験を充実したものとなるよう取り組んで参りますので、  
こんご ねが  
今後ともどうぞよろしくお祈いいたします。

リハーサルは念入りに!!



シナリオもしっかり確認!!



ケーキ登場に会場はびっくり!!  
ケーキ入刀は子どもたちからのリクエスト!!

司会・進行を務めてくれた  
シニア会員 八戸工業大学 2年

あかだ りゅうま あきやま ゆうあ  
赤田 龍舞さん 秋山 由羽晃さん



発足会終了後、  
ご来賓の方々と  
顔合わせ会も開かれました♪



英語発表の私たち!  
普段からこんなに仲良し!  
本番にむけてがんばろうね!



最後の参加となるお二人と♪  
悔いのないよう頑張ります!!  
LOVE HACHINOHE!!



イラストに色も付けて♪  
みんなレポートびっちり  
書いてくれました!



お弁当と塩サイダーを  
お振舞い♪  
発足会のケーキもいただきました!

甘いものはみんな大好き♪



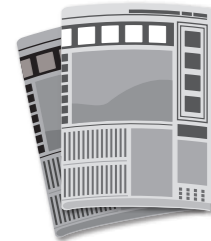
高橋先生・井上先生に質問中♪  
どんな“疑問”かな?



美味しいお祝いのケーキ!  
ご馳走様です!!



令和8年5月13日(水) デーリー東北 掲載記事



新聞記者の方が  
取材をしてくださいました!!  
なんかプレッシャー!!





### マリエント「ちきゅう」たんけんクラブレポート

※感じたことを自由にかいてみよう

氏名	福田莉子	学校名	北園小学校
学年	4年	年齢	9才
性別	男		女

#### 第19回 マリエント「ちきゅう」たんけんクラブ 令和8年度 発足式

発足式では、毎回ふしぎをたんきゅうそして、ふしぎを大事にすることが分かりました。それから、そのふしぎを調べて、活かすことが大切だと思いました。

サケの放流では、はじめはたくさんのサケが飛びはねていたのですが、だんだん飛びはねているサケが少なくなっていました。それからサケをさわってみたら、少しぬるぬるしていました。サケは、よく見ると、ぴきぴき色がちがうことが分かります。そのぬるぬるが取れると、海はしお水なので、人間だとやりごのじょうだいになるそうです。



### マリエント「ちきゅう」たんけんクラブレポート

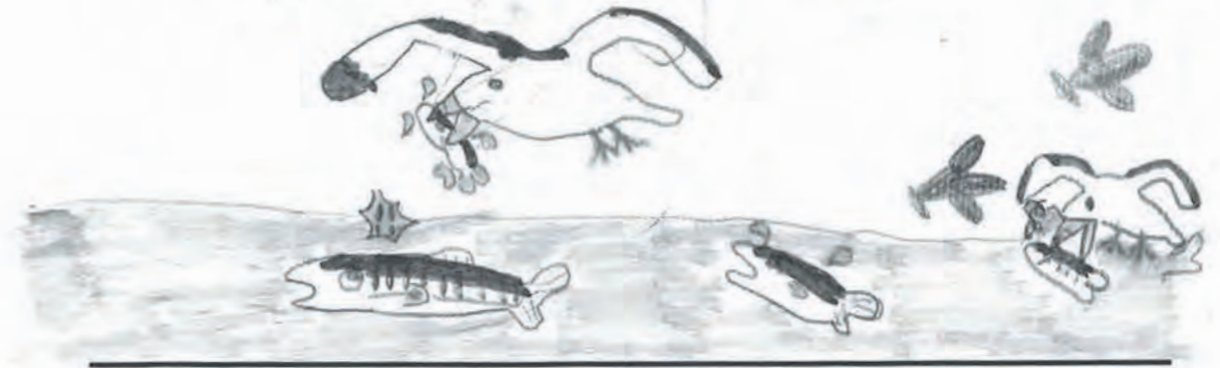
※感じたことを自由にかいてみよう

氏名	船橋あづき	学校名	平内町立東小学校
学年	小4	年齢	9才
性別	男		女

#### 第19回 マリエント「ちきゅう」たんけんクラブ 令和8年度 発足式

サケを放流して、ウミネコにサケが食べられているところが、かわいかったです。なせかというと、サケがちゃんと海に出られたのに、すぐに食べられたからです。

ウミネコがたくさん集まっていた。どうしてかと思うので、ち魚をつかまえて、飛んでいきました。泳いれないち魚を口にくちえて、ひといいと思いました。だからウミネコに食べられないように、おくの方へ行くと、波が引いているので、放流しました。そしたら食べられませんでした。ほ、としました。来年も食べられないように工夫して逃がしたいです。





### マリエント「ちきゅう」たんけんクラブレポート

※感じたことを自由にかいてみよう

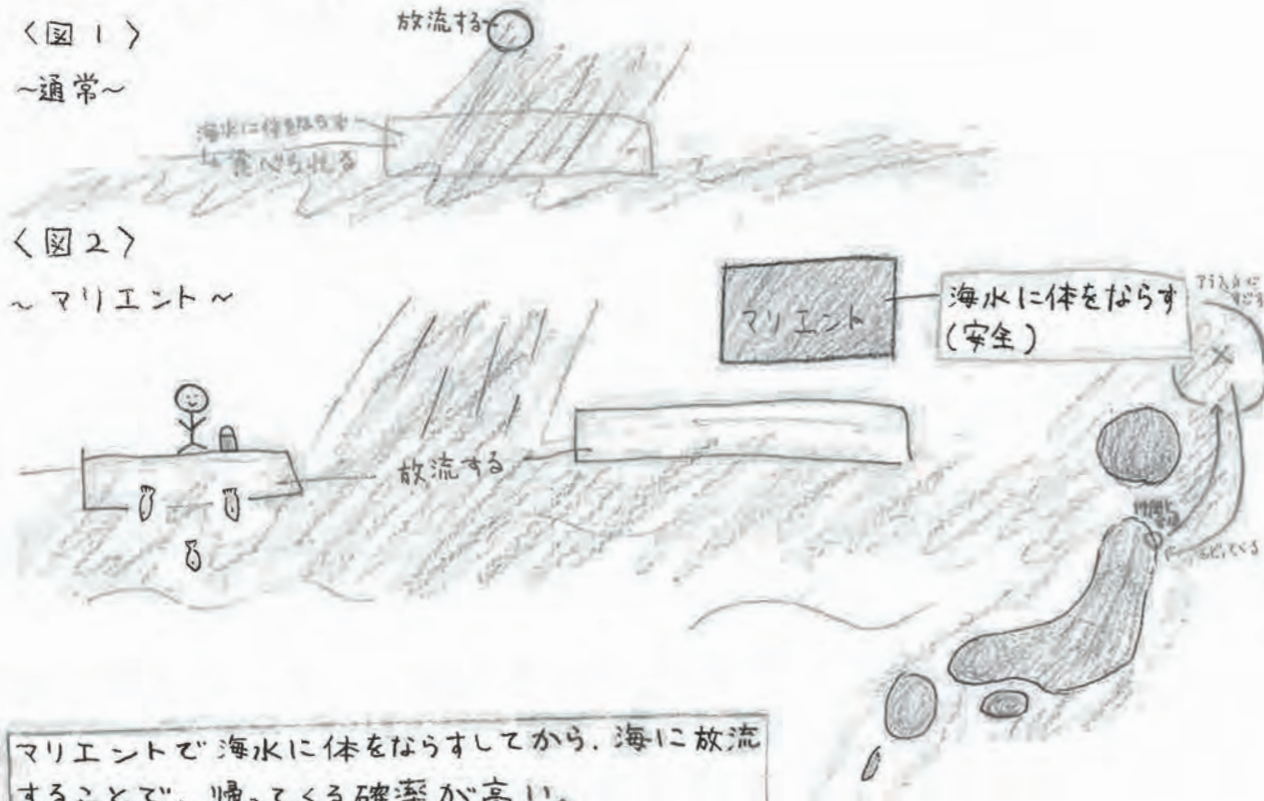
氏名	大門 ななみ	学校名	青森市立佃小学校
学年	小6	年齢	11才
性別	男・女		

#### 第19回 マリエント「ちきゅう」たんけんクラブ 令和8年度 発足式

問 なぜ海にさけを放流するのだろう。

予 川で鳥に食べられる。

調 <図1>  
~通常~



注 マリエントで海水に体をならすしてから、海に放流することで、帰ってくる確率が高い。

義 マリエントでどのように海水に体をならしているのだろう。



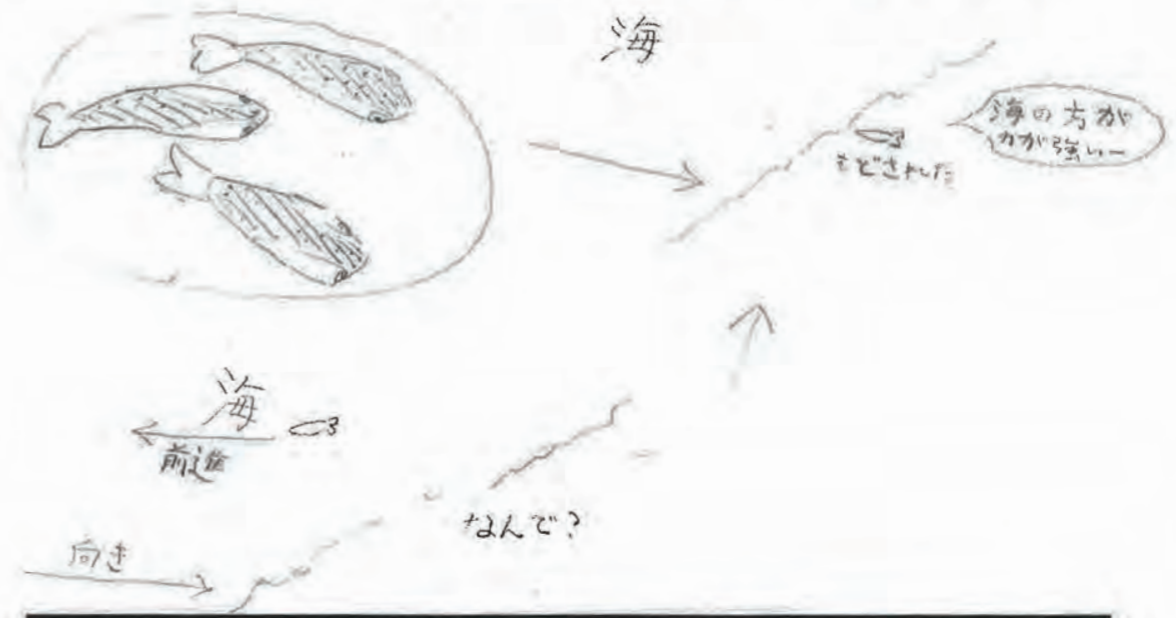
### マリエント「ちきゅう」たんけんクラブレポート

※感じたことを自由にかいてみよう

氏名	高坂 由実	学校名	白山台小
学年	6年	年齢	11才
性別	男・女		

#### 第19回 マリエント「ちきゅう」たんけんクラブ 令和8年度 発足式

今日は発足式と、サケの放流をしました。発足式ではたくさんの方が来ていてきん張りました。今年もたんけんクラブをかんぱりたいです。サケの放流は、長ぐつをはいて外にでてやりました。サケのち魚は、上から見ると、黒い点々に黒と緑黒い感じの色でした。そして、海に放ると、ち魚は波に逆らって進んでいたのはなんでかなと思いました。ふつう波に乗って行くと考えていたからです。でも波の力が強くてち魚がもどされたりもしていました。また、海には天敵がいるのでちゃんと生きていてほしいです。





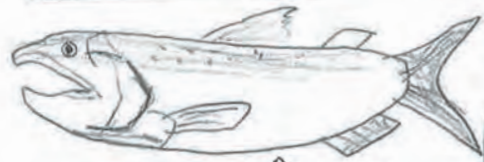
### マリエント「ちきゅう」たんけんクラブレポート

※感じたことを自由にかいてみよう

氏名	西 幸生	学校名	八戸市立白銀中学校
学年	3年	年齢	14才
		性別	男・女

#### 第19回 マリエント「ちきゅう」たんけんクラブ 令和8年度 発足式

サケの稚魚の特徴  
・黒っぽい緑色  
・黒い斑点のようなものがたくさんあった



↑  
おとなのサケ  
(60~80cm前後)

光が当たると緑色に見える!!



疑問?  
なぜ、稚魚とおとなのサケで色が違うのか

年々、サケの数が減ってきているので今日行った稚魚の放流を続けてやるのが大切だと思いました。稚魚たちが大きくなって、自分が生まれた川に戻ってきてほしいと思いました。

マリエント  
水そうの中で海水にならしてから海に放流する  
↓  
川に放流した場合よりも自分の川に戻ってくる確率が高い◎  
科学的に実証されている

もしも、川で放流すると川でうろろしているうちにウミネコなどの天敵に食べられてしまう

稚魚の放流を継続してやるのが大切だ



### マリエント「ちきゅう」たんけんクラブレポート

※感じたことを自由にかいてみよう

氏名	川口 慶治	学校名	八戸聖カリス学院
学年	高3	年齢	18才
		性別	男・女

#### 第19回 マリエント「ちきゅう」たんけんクラブ 令和8年度 発足式

発足式を通じ、市長やJAMSTECを始め様々な機関のサポートを受けていることがよくわかった。JpGUではその応援に恥じないよう、全力で取り組もうという気持ちが一層強くかりました。稚魚の放流では会員の子供たちが成長を願って放っていた。

その後、自然の恐ろしさを学びました。昨年ではウミネコの被害はなかったが今年に於いて急に被害が広がった。学習をしたのか...? 予想外の一定時期に於いてサケが少し食べやすくなることと学習。45月頃今ごろ

稚魚が多いため川にたまるようになる。→人が集まる→人が来る。稚魚は川にたまることかてまるとか? →稚魚の段階で川の水に入れておくことで「カササギ」帰巣本能が動物はカササギ。→犬や猫、鳥にもあつていわれている。